

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和4年9月5日(月) 9時20分開議 令和4年9月5日(月) 10時20分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋座長、原田豊彦副座長、足立義則委員、 安井博幸委員、隅田雅春委員
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第51号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第9号)
6. 議事の経過	<p>向井座長 開議宣告</p> <p>■こども未来部 日程第1 議案第51号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第9号)</p> <p>■議員協議</p> <p>向井座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願います。</p> <p>安井委員 味間こども園を見させてもらいましたが結局、2歳児3歳児のところを作らなかつたら、味間ではどうにもならないということだから、味間は関係がなかったということで、2歳児3歳児を考えたら西紀でない部屋をつくる意味がないということがやっと理解出来たというのが正直な感想です。ただ、幾ら何でも1部屋が4000何百万円というのは、高額過ぎると思うのが正直な感想です。しかも将来の認定こども園化とか統廃合などを考えたら、あまりに立派なものをつくる必要はないと思います。それともう一つ心配なのは保育士を確保できていないわけです。保育士が確保できていないのに建物だけ出来てどうするんだということがあります。もちろん、建物があって保育士がいて成り立つわけですから、建物のほうに高額の投資をするということに対してはすごい抵抗を感じています。せめて半額ぐらいにならないの</p>

かと思えます。

それと、にしき保育園は、建築後 30 年ほどたっているわけです。それで、既存の建物とのセットを考えたら、耐久力があって上等なものをつくる必要はないと思う。要するに、将来こども園化を西紀のほうでするのであれば、そういったことも考えて投資していかないと無駄な投資になるのではという心配を感じます。だから金額だけが今ひっかかっています。

隅田委員

私も安井委員と同様でございます。味間認定こども園へ行くまで、3 部屋必要というのは、頭になかったものですから、あそこでも 3 部屋とれるだろうとも思っていたのですが、園長先生から死角ができるということと、給食を運ぶのにも、端から端までということ、園長先生の了解は得られそうにありませんでした。それで西紀を見に行ったら撤去するのにも 100 万円かからないだろうと思いましたが、あそこに建てるのに 4700 万円というのは 55 平米ですので、金額が非常に引かかっているところです。

それと建築後 35 年で、玄関のところの丸い屋根も随分と古くなっておりまして、もう築 40 年となれば、認定こども園化なり建て替えなりの話が出てくるだろうと思えます。そのときに一括してお金を投入するのはいいと思うんですが、もうちょっと金額が減らせるような部屋づくりを再検討していただきたいという要望です。

足立委員

現地踏査をやっていただきまして、大変ありがたく思っております。安井委員が言われたとおり、味間で認定こども園の増築とか待機児童とかの数字も見せてもらいましたが、僕の頭の中ではそれは全く関係なくて、西紀に 0 歳児の新しい施設を建てるという計画でよかったと思えます。説明もいろんなことを言い過ぎであったので、よくわからなくなってしまったというのが本音です。

今言われているように、金額はとにかく想像出来ないぐらい高過ぎますので、どういう根拠で積算しているのかがよくわからないほどの金額が出ていますので、もう少し安くはしていただきたいし、ほんとうのところ仮設で、将来倉庫で使っても良いようなものでもいいのではと思えます。もう仮設で僕はよいのではと思えます。隅田委員がおっしゃるように、西紀はどこかのタイミングで更新をしなければならないと思えます。

かなり老朽化も進んでるので、そのときにやるということだったら、仮設でもよいのではと思います。

ただし、そのときは、何年には建てますという条件もつけないといけないかもわかりませんが、そういう気持ちで今はおります。

向井座長 副座長どうですか。

原田副座長 皆さんの意見に全く同感です。

向井座長 皆さん今回の建設の予算に関しては、ちょっと疑問が生じているということですが、今回出てきてる予算は、実はその建設の予算ではなくて設計の予算ですので、今回の予算に対してはどうしたらよいと思われませんか。

安井委員 附帯決議を付けて、本設計においては簡素化なりして、とにかくコストダウンを最優先してくださいというのを付けて、設計予算は承認するという形が1番良いのかなと感じます。

隅田委員 提案されている設計費を変更といいますかもうちょっと下げるような手だてが必要かと思います。たしか300何十万円でしたよね。

向井座長 390万円です。

隅田委員 390万円で大体1割ぐらいが、設計費になるんですけど、だから300、400万円近い設計費で、1500万円のものをつくれというのも、その辺が、ちょっと気になります。大体2000万円の設計費なら200万円ぐらいのことになってきます。設計費を認めると4700万円、撤去費も含めての形になりますのでその辺りをどう考えるかということです。これ9月末に閉めるときまでに設計費の見直しができるのか。

今足立委員言われたように、この設計費用を認めた上で仮設にしろというのもおかしい話になると思う。

向井座長 すいません設計費は290万円、約300万円でした。

安井委員 その300万円がマックスという意味で理解していいんですよね。だ

から別に 200 万円で抑える設計にして、本体も 2000 万円ぐらいで抑えるぐらいにしてほしいと思います。そういったことを付け加えることは不可能なのかと思うのでその辺が気になります。

向井座長

あくまで予算ですので、そのような附帯決議というか意見を全体会に持ち上がっていくということで良いのか。それともこの予算自体を認めないというほうが良いのか。

足立委員

はっきり覚えてないのですが、おそらく令和 6 年 1 月に供用開始だったというふうに思っているんですけども、例えばこれ 9 月議会で落としても、12 月議会でもう一度精査し直して安くしてもらっても 3 か月です。簡単に言うと、令和 6 年の 4 月には供用開始ができる。そこを対応する保育士も今はいない状態になってるのだから、多少遅れてもいいのであれば、いったん落として、もう一度そこを精査し直して 12 月にきなさいというのもありえるのかなとは思いました。たしか令和 6 年 1 月だったと思います。

安井委員

委員会としては、高額な建物を建てないというのが総意ならば、足立議員が言われたように、一旦落としてもっと安いように、考え直してほしいと言ったほうが、意思が伝わりやすいような気はします。予算を認めて注釈で言っても、無視されたら終わりという感じもしますしそこは気になっております。

向井座長

この問題の一番大事なことは、待機児童が今この丹波篠山市に 94 人もいて、その中でも味間に 44 人でしたか。すごく多い状況です。その待機児童は、0 歳、6 か月から 1 歳までの間に、それだけの子供がいるということです。ということは 4 月始まりではないわけです。1 月から 6 か月になってるのかもしれないし、8 月から 9 月から 10 月から、待機児童の子にとったら、それが 100 ですからね、その一月、一月のことを考えたら、今その資材がなかなか入らないということであれば、少しでも早く建てたほうが前倒しで、そうすれば助かるお母さんがおられるのかなということは思います。

足立委員

別に反論するわけではないですけど、数字をおっしゃいましたけど、今回これ建てても、供用開始は令和 6 年の 1 月ですから、例えばこの

10月から供用開始をするのであれば、そういう理論で合っていると思います。1日でも早くということが、しかしこれは令和6年の話だから、そのときに待機児童が今の数だけいるのかどうかもわからないのだから、別に今計画たてて3か月遅れても、私は安くするほうが賢明な選択なのかなという気はしています。

この10月から今すぐ使うというのであれば、委員長の数字は全部ぴったり合うと思うんだけど、2年後の数字はそれと合うとは限らないと思ってます。それで出生数も減っている状態なので、落としてしまったほうがいいのかということは今思ってます。

向井座長 令和6年の1月だからそうですね。その頃は年齢も上がりますね。

足立委員 全体の子育て環境、認定こども園や老朽化した施設も含めて、計画を一度示してもらいたいと思う。まだ見せてもらってないと思うので、こういうように何か事が起こるたびに、やるような施策ではなしに、長期的な計画を1回示してもらわないと、こんなことをずっとやっていたら、今田の場合も計画がなかったと思うんだけど、財源豊かな都市であればいいけど、もうちょっと計画を立ててしっかりやっていかないとその場その場でやっていくと、ちょっとしんどいのかなと思います。

安井委員 足立委員の言われたことなんですけども、教育施設の関係は、何かこう財政の様子を見ながらといいますか、かなりアバウトな書き方しかなかったと思うんです。長期的なロードマップというか、何も示されていないというのが教育委員会の施設の将来計画なんです。

だからそこをやっぱり委員会としても、ちゃんとしなさいということは、言っといたほうがいいんじゃないですか。委員会の総意とか意見として思います。こういう要望があったからしますというやり方からは脱皮してほしいという気がします。

隅田委員 私は、足立議員の言われた形で、落としたとしても、本市は通年議会でやってますので、12月議会まで待たずに、10月決算委員会等もやったりしておりますので、10月にこの1件だけでも本会議を開いてもらっても、私は良いと思っているんですけども、ただそうした場合にもっと安い設計ができるのか出来ないのか。安全性とかいろんな面を

含めて、できるかできないかその確認だけはとれればと思います。

向井座長　　こども未来部に確認をするということでここで休憩とします。

——休憩——

向井座長　　それでは分科会を再開したいと思います。こども未来部に出席していただきました。金曜日の現地踏査には大変遅くまでどうもありがとうございました。引き続き議員間協議してるんですけども、確認質問があるということで質問を行いたいと思います。

隅田委員　　委員長のほうからまとめて、今各委員が言ったことを伝えてください。工事費が高いとそれを何とか下げられないのか。今回は設計費ですけれども、建築構造によって設計が変わるので、それであれば設計の委託料も下がってくるのではないかとそういう議員の思いをお願いします。

向井座長　　待機児童解消は、喫緊の課題ではありますが、金曜日に説明していただいたとおり、味間認定こども園の中では難しいということもわかりました。丹波篠山市の待機児童解消のために、にしき保育園の中に建設するというのもわかったんですけども、建設費用がちょっと高いのではないかと。

その建設費用に基づいて、設計費用もやっぱり認めてしまうと、続いてしまうので、もう少しそこを考えていただく必要があるのではないかとということで、こども未来部に質問させていただきたいということです。

こども未来部　　今、座長のほうからありましたとおり、設計費に加えて今後どれだけの建設費がかかるのかということで、費用を出していますが、現場を見ていただいたとおり、少し高いということの御指摘でございますので、構造を幾らか見直すことで、費用が下がるのではないかとというふうに思いますので、構造を見直していきたいと思います。ただ設計の部分については、構造が変わったとしても、変わらないのかなと思いますので、予算についてはこのまま必要であると思います。

今後建築の設計について、現在木造または鉄骨ということでお示し

をさせてもらっている部分を、もう少し費用が安くなるように、例えば軽量鉄骨とかそういった見直しをさせていただきたいというように考えております。

向井座長 議員の皆さんどうですか。

足立委員 今回は 4400 万円、設計費もいれて、4500 万円、4600 万円とかですが、それぐらいのものを、にしき保育園の敷地内に投資するわけですが、先ほどからでているように本体自体も築 35 年などと聞いていて、もうかなり老朽化も進んでるとしたら、どこかで更新しなければいけないというときに、この 4400 万円を今我慢して、全体の計画を持って、例えば 1 年後 2 年後でもいいと思うが、建てるという計画を持って建て直しても、令和 6 年 1 月の供用開始だから、今田が令和 6 年 4 月に開校予定でこの前慌てて臨時議会しましたよね。

それからいくと、令和 6 年の例えば秋とかでも今から計画を立てて、もっと費用はかかるけれども、やろうとなったら、その 4000 何百万円が生きてきますよね。今のこの仮設みたいなので、横にちょっとだけ足すのに 4000 何百万円使うのはは理解出来ない。既存の施設が新しくまだまだ使いますなら分かるけど、おそらく何年か先には、新設しないといけないと思う。

そういう計画をちゃんと持っているのかどうかも全く見えないから、よけいに混乱するんです。ちゃんと計画案があって、ここは後 20 年このまま使えますよとか 5 年で潰しますとか、そういった計画が何も無いでしょう。例えば、また保護者の方から老朽化して傷んでいるので直してくださいと聞いたら、また潰さないといけない。

新設しないといけないとなったら、今後、生きてこないですよ。この 4000 何百万円が。だからもったいないと思うわけです。だからこの一体的なものはどうするのかということもあわせて、もう一遍最初から考え直して、提示してもらおうほうが、私としてはうれしいし。ここを全部建て替えますという計画でもいいと思うのです。

もっと言わせてもらったら、味間認定こども園に部屋が足りないのであれば、消防車庫も全部潰して、横にスペースがありましたから、そこを全部一体型にして、今の建物にくっつけて増築するという考えで、味間認定こども園には、もうあと三つ部屋をつくって、どんと大きなものにしますとそこに別に二億円かかりましたといっても私はま

だ効果があると思う。にしきの保育園に4000何百万円の費用をかけることがどうも理解が出来ない。お金の無駄遣いとはまさにこのことかと思う。それだったら味間に立派な施設を建てて、丹波篠山市としてこの認定こども園が、皆さんに来てもらえる施設になりましたとあって、0歳児も1歳児も2歳児も全部受入れますという形で増築しましたというほうがうれしいです。

そういう計画があるのかないのか、将来の全体像を見た計画があるのか。どうも今田の時は計画があるようには見えなかったけど、その辺りの考え方を整理出来ているのかどうかだけお答えください。

こども未来部 足立議員からの厳しい御指摘そのとおりでと思います。こども未来部でのこども園化、幼保一体化の考え方なんですけれども、以前に幼保一体化計画というものはつくってありますけれども、実際そのとおり進んでいないところがあります。教育長も新しくなられてから、委員会の場でもお話もさせてもらっておりますけれども、教育委員会、こども未来部としては市内全体をこども園化していきたいという考えを基本的には持っております。

順番についてどういうところからやっていくかというような計画といますか具体的な工程表みたいなものは持っておりません。考え方として持っているのは、西紀も見ていただいておりますとおり、老朽化が進んでるところがありますので、長寿命化の計画や老朽化の計画、そちらの計画をしていく段階で、改めてこども園化や地域の皆さんの御意見も聞かせていただいて、具体的に話が進むというような状況であれば、その順番で進めていくというのが今の教育委員会の考え方です。

今田につきましては、足立議員が言われましたとおり、臨時議会をお世話になったのは、今田についても老朽化が進み、それから危険地域にあるというところから、地域の皆さんとの話合いもさせていただいて、それだけ費用がかかるのであれば、施設については一体化して、こども園化したほうが良いのではないかというような合意形成が得られましたので、今田については、こども園化をしていくというところでございます。西紀については、今のところそういうお話は、保護者からは、出ていないという状況でございます。

一方、城東地区につきましては、保護者の皆さんから、施設の老朽化とあわせて、こども園化も検討してほしいというようなそういう御

要望が出てきておるようでございますので、御要望に合わせてこれから検討していくという状況でございます。そういうのが今の教育委員会、こども未来部の考えで地域の要望があったところから、施設の老朽化、長寿命化とあわせて、一緒に検討していくような状況でございます。重ねてになりますけれども、西紀については今のところそういうお話というものがございませんので、今回、最小限のような形、費用的については高いということを思いますので、少し費用のほうを抑えた形でさせていただいて、待機児童解消の一環としてさせていただきたいという状況でございます。

こども園化については順次していきたいというのが、教育委員会として、こども未来部としての考え方でございます。それから、味間の部分につきましては、場所も見ていただいたのでわかりますとおり、保育室の新たな増室増築を消防車庫のあたりにすると、どうしても園舎が他の保育室と離れてしまうことから、難しいのかというように思いますので、味間については、あの場所では、当然多額の費用がかかりますので、多額の費用をかけるのは無駄になるのかと考えます。

単に、0、1歳児の保育室だけを増やしたとしても、お話をさせてもらったとおり、ほかにも影響があることから、味間では難しいというのが、私なりこども未来部としての考え方ですので、今回西紀の部分について御理解いただけたらという思いです。

安井委員

長期的な施設整備計画というのはない。要するに地元から要望があったところから順番に考えていくという感じを受けるんだけど、それは何か声の大きいところからやっていくという感じで、それは行政の長期計画の在り方として僕はおかしいと思うんです。

やはり、各施設を全市的に見て、ここはこういうふうにしていくのですというのを示して、それと地元の要望とのセットで考えていかなければいけないのに、市の考えというのが無くて何か要望があってそれにこたえるだけの行政のような感じがして私はそれはおかしいと思ってしまうのです。

あともう一つ、味間に関しては、例えば、前に保育園だった今、プティプリがやっている子育てママフィールドがありますよね。僕はあそこをもう1回、こども園の分所にしてもいいのかなと思ったりもするんです。部屋もあるし、リフォームもされているし、だからそういう0歳児とか1歳児、2歳差、3歳児までの要望があって、場所が足ら

ないのであれば、既存の施設要するに、プティプリは、これからもずっとあの状態でしなければならないということではなしに、そういう選択肢も考えてもいいんじゃないかと思うんだけど、そういうことは、一切考えることは無理ですか。一旦事業を始めたら無理なんですか。

こども未来部 安井議員のほうからありましたが、声の大きいところだけ、そこからしていくということではなしに、最初にも言ったとおり施設の老朽化とあわせて一緒に考えて、地域の皆さんの御要望があるところからということですので、決して要望だけで進めていくということではないことは御理解いただきたいと思います。

現在プティプリが使っている旧のおとわ園のことですけれども、私が記憶しておりますのは、おとわ園については、土砂災害の警戒区域であるということから、その場所での建設は行わずに、今の場所に移ったと思っておりますので、土砂災害の警戒区域、あそこはイエローゾーンだと思っておりますので、そこでのまた分園ということは、保護者の皆さん、利用者の方から思うと、御理解が得られにくいと私は思います。

安井委員 もちろん、そういういきさつがあつて今のところに、こども園が出来たことは分かるんだけど、ただ、今の人口減少とか状況を考えると、取りあえず、お金をかけずにすぐに場所が確保できるとなるとやっぱりそういうところではないですか。そこはレッドゾーンじゃなくてイエローゾーンじゃないですか。しかも、こども園は移転したけども同じように子供が来てもらって行うような事業をやっているわけです。その辺が、イエローゾーンだから駄目だっていうのだったら、プティプリ的な事業も駄目になるのではないかと思うんだけど、プティプリはよいけど子供を預かってもらうのは駄目というのは、ちょっと理解しにくいんです。

こども未来部 ちょっと言葉が十分でなかったと思いますが、味間についてはそういう経緯があつて今の場所に持って来ておりますので、その場所にまた戻るといふのは少し理解が得にくいということです。

安井委員 いや、今のところがいいと思いますよ。ただ、余りにもキャパが足りないから、西紀に持っていきたいわけですよ。それなら、今のプ

ティプリのところで、保育してもかまわないのかなと思ってしまうわけです。

隅田委員

安井議員の話はちょっと話が飛んでいますので、私としては、全体的なことはまた委員会として検討していく必要があるかなと思います。今回の件は、費用を落としていただく努力をしていただくことで認めるというように私は思っております。

足立委員

今回の設計費を認めたとして、来年度当初予算で4400万円というのが予定では書いてあります。この間、西紀行ったときに、いわゆる起債の話で後年度に交付税算入率でいくらか返ってくるような話をしたと思うのですが、それが何%でしたかそこだけ確認しときます。

こども未来部

公立の保育園の整備につきましては、補助金という形ではなくて今おっしゃっていただきましたように起債という形で、措置のほうがなされます。その起債の対象額につきましては、工事費にかかる2分の1まで、起債を起こすことができるというところで、50%まで起債を起こすことができます。その後の後年度に交付税算入で返ってくるというふうに計算される部分については、70%返ってきますということになっておりますので、全体の工事費から見ますと単純に50%掛ける70%で、全体の工事費から見ると35%が返ってくるというような起債となっております。

向井座長

それではこども未来部に対する質疑をこれで終了したいと思います。お疲れさまでした。

——執行部退席——

向井座長

引き続きまして、全体会に持ち上がる市長等への質問があれば、御発言願います。市長への質問はなしでよろしいですか。

——異議なし——

■意向確認

向井座長

それでは、続きまして9月13日の予算決算委員会での座長報告のた

め、委員の皆様の議案に対する意向等を確認したいと思います。それでは議案第 51 号、令和 4 年度、丹波篠山市一般会計補正予算（第 9 号）のうち、こども未来部所管の事項について、賛否の意向確認を行います。本案に賛成の方は挙手願います。

——挙手 2 名——

向井座長 挙手が半分です。

隅田委員 座長の判断です。

向井座長 私は、今こども未来部の話を聞きまして、考えていくとおっしゃったので、一旦この設計費は認めて、考えていただいて当初予算の建設費のほうの予算でまた見ていったらいいのではないかと私は思います。今回、私は賛成したいと思います。よってここは賛成多数にさせていただきたいと思います。反対の意向の方はその理由の確認だけお願いします。

安井委員 金額はどの程度下がるのかというのがまだわからない。わかった状態で努力の跡を認めて賛成したいと思います。

足立委員 今回の予算は設計費ですけども、もう来年度、半年後には、4400 万円という当初予算で計上するという計画がありますので、あわせて、4800 万円程度の事業費をどうするのかという審議をしてる委員会になっていると思っています。そのことについて先ほど言いましたようにその投資する費用対効果で、総額 5000 万円になろうとする金額を西紀に入れていいものかどうか。全部更新して新しくするほうが効果があるのではないかという思いで、今その金額が見えてないので、迷ってますけども、明確にそのほうが効果があるというのがあれば、全て更新して建て替えを今から進めていったほうがいいのではないかという思いで賛成しかねてます。

向井座長 それでは、以上で当分科会に審査依頼のありました議案についての意向確認は全て終了しました。この結果と本日の執行部との質疑応答及び委員間協議を含めた形で分科会の座長報告を行います。内容につ

いては、座長、副座長に御一任いただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

——異議なし——

向井座長 また分科会審査に関わる会議記録については、事務局に調整させ、座長、副座長において、内容確認を行いたいと思います。これに御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

——異議なし——

向井座長 異議なしと認めます。これで分科会を閉じます。これをもちまして本日予定しておりました全ての審査が終了しました。予備日において皆さん本当にお忙しい中、どうもありがとうございました。それでは散会にあたりまして、原田副座長より御挨拶お願いいたします。

原田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

10:20 散会